

## 第5回 ジャパンドローン 参加報告

2020年9月29日（火）～30日（水）に、幕張メッセにて開催された“第5回 ジャパンドローン”に参加し、国際航空宇宙展の担当として展示会の状況を調査するとともに、感染症対策など次回の国際航空宇宙展（JA）開催に向け参考とする機会を得たので報告する。

### 1. “第5回 ジャパンドローン”について

名称：第5回 ジャパンドローン

（Japan Drone 2020）

会期：2020年9月29日（火）～30日（水）

会場：幕張メッセ

主催：（一社）日本UAS産業振興協議会  
（JUIDA）

本展示会は、当初、幕張メッセにて3月に開催が予定されていたが、新型コロナウイルスの感染拡大により開催が9月末に延期されていた。

この展示会は、日本では数少ないDroneに焦点を当てた展示会である。

### 2. 展示会について

今回の“第5回 ジャパンドローン”は、幕張メッセの展示ホール8（面積、6,750㎡）を使用して開催された。

展示ホールの約2/3が出展者の展示、残りがコンファレンス、出展者プレゼン、及び、予備スペースとして使用され、余裕のある展示配置となっていた。

今回は、新型コロナウイルス感染防止の為か開会式などの、人が密になるセレモニーは行われず、静かな開会となった。

また、過去の展示会は3日間の会期で開催されていたが、今回は、1日短縮され2日間の開催となった。



感染症対策を実施した受付



会場全景

今回の“第5回 ジャパンドローン”の、来場者数、出展社数などは、以下のとおり。

	2020年実績 (会期2日間)	2019年実績 (会期3日間)
来場者数	8,979人 (注1)	14,861人 (注3)
出展社数	104社 (注2)	222社 (注3)
展示ドローン機数	発表無し	189機 (注3)

注1：ジャパンドローン2020 WEB Site “第5回終了のご報告” より

注2：ジャパンドローン・ウエルカムスピーチより

注3：ジャパンドローン2020 WEB Site “2019年開催概要” より  
(2019年実績は、2019年3月13日～15日3日間合計)

### 3. 基調・特別講演、専門セミナー

展示ホール内のセミナー会場において、国際コンファレンスとして“海外招待講演、基調講演、特別講演”が行われ、また、ドローン・イノベーションセミナーとして、専門家による有料のセミナーが行われた。

海外招待講演、基調講演などにおける、海外からの専門家の講演は、新型コロナウイルスの感染拡大による入国規制などのため、全てビデオによる講演で実施された。

特別講演では、ドローンの活用、社会実装などをテーマとしたパネルディスカッション、また、福島ロボットテストフィールドに



セミナー会場のコロナ対策



基調・特別講演、専門セミナー プログラム

関する田中 前復興大臣による講演、福島ロボットテストフィールドを活用してのドローン運用ガイドラインについてのパネルディスカッションなどが開催された。

国際コンファレンスなどのセミナーの会場は、新型コロナウイルスの感染防止対策のため、着席できる椅子を3席に1席と間隔を開け、約120～130名が入る会場となっていた。また、パネルディスカッションのパネリストも透明な仕切り板を間に設置、距離を取るなどの対策が取られ、感染症対策に留意したパネルディスカッションとなっていた。

#### 4. 所見

今回の“第5回 ジャパンドローン”では大型ドローンの特設展示コーナーが作られるなど、小型のマルチコプターの展示が中心であった展示会から、大型のドローンの展示が増え、また、水上・水中で稼働するドローンなどが展示に加わるなど、ドローンの活用領域が広がっていることを感じる展示会であった。

また、大小のドローン本体の展示に加え、ドローンの運用・活用方法などに関する展示、講演などが増えてきたと感じた。

今回は、新型コロナウイルスの影響、また、

会期が2日間に短縮（前回は3日間）されたことなどにより、来場者数は、前回の展示会に比べ、約60%と少ないものとなっていた、また、展示に関しては日本企業を中心とした展示となっており、海外からの来場者等は見かけなかった。

今回の展示会は、コロナ禍の中での開催となったことから、3密を避けるため展示場内の各所に新型コロナウイルス感染防止対策がなされており、また、出展者も対策を取っての出展となっており、これからの展示会開催の参考となった。

今回の展示会は、コロナ禍の中のイベント開催であり、新型コロナウイルスの影響を受け、感染防止対策の実施、来場者・出展者の減少など、多くの変化があるがコロナ禍において展示会というイベントが少しずつではあるが、再開・開催できたということは、経済活動と感染防止の両立という観点から大きな意味があると考えられる。

今後の、国際航空宇宙展の開催に向けて、これからも暫くの間、コロナ禍における各種の展示会の開催状況など注視していく予定である。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 国際航空宇宙展事務局 部長 長井 利幸〕